

宿泊約款 利用規則

GENERAL CONDITIONS FOR ACCOMMODATION

宿泊約款

【適用範囲】

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間に締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

【宿泊契約の申し込み】

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊者が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第17条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第11条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

【申込金の支払いを要しないこととする特約】

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

【宿泊契約締結の拒否】

- 第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室により客室の余裕が無いとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をすることおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとするものが、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (7) 福島県旅館業法施行条例第10条の規定（宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められる場合）に該当するとき。

- 2 当ホテルは、宿泊しようとする者が次に掲げる場合、又は該当すると当ホテルが判断した場合において、宿泊契約を締結いたしません。
 - (1) 暴力団、暴力団員、又は暴力団、暴力団員が活動を支配する法人その他の団体の関係者であるとき。
 - (2) 反社会的団体、反社会的団体構成員及びこれに類する行為が認められると当ホテルが判断した場合。
 - (3) 暴行、傷害、脅迫、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合。

【宿泊客の契約解除権】

- 第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合においては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客より解除されたものとみなし処理することがあります。

【当ホテルの契約解除権】

- 第7条 当ホテルは、第3条第1項により宿泊契約が成立した場合であっても、次のいずれかに該当することがある場合は、当該宿泊契約を解除することがあります。
- (1) 第5条第1項第3号から第7号のいずれかに該当すると当ホテルが判断したとき。
 - (2) 第10条に定める利用規約に反する行為があったとき、又はそのおそれがあると当ホテルが判断したとき。
 - (3) 前各号のほか、解除する正当な理由があるとき、又は正当な理由があると当ホテルが判断したとき。
- 2 当ホテルは、第3条第1項により宿泊契約が成立した場合であっても、第5条第2項に該当すると当ホテルが判断した場合は、当該宿泊契約を解除します。
- 3 当ホテルが前2項の規定により宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

【宿泊の登録】

- 第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊者の氏名、年令、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第11条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

【客室の使用時間】

- 第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 超過3時間までは、室料金の3分の1
 - (2) 超過6時間までは、室料金の2分の1
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の全額
- 3 前第2項の追加料金は各種割引等の室料金にて宿泊されている場合においても、当ホテルが定める室料金から算出させていただきます。

【利用規則の遵守】

第10条 宿泊客は、当ホテルにおいては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

【料金の支払い】

第11条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けします。

【当ホテルの責任】

- 第12条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

- 第13条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

【寄託物等の取扱い】

- 第14条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金および貴重品については、宿泊客が種類及び価額を申告しなかった場合は、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意または過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

- 第15条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡します。
- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合は、遺失物法（平成19年12月10日施行）及び関係政令等により適切に処理いたします。
 - 3 前第2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

【駐車場の責任】

第16条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場

の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

【宿泊客の責任】

第17条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

【免責事項】

第18条 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用に当たりましては、お客様ご自身の責任にて行うものといたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

【支配する言語】

第19条 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款と翻訳文の間に不一致又は相違があるときは、日本語がすべての点について支配するものとします。

【準拠法】

第20条 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

●別表第1

宿泊料金等の算定方法（第2条第1項、第3条第2項及び第11条第1項関係）

		内 訳	
宿泊客が支払うべき 総 額	宿泊料金	①基本宿泊料（室料）	②サービス料（①×10%）
	追加料金	③飲食料（追加飲食及びその他の利用料金）	④サービス料（③×10%）
	税 金	消費税	

（備考）基本宿泊料はフロント・客室に掲示する料金表によります。

●別表第2

違約金（第6条第2項関係）

契約申込人数		契約解除の通知を受けた日				
		不泊	当日	前日	9日前	20日前
一 般	14名まで	100%	80%	20%	—	—
団 体	15名～99名まで	100%	80%	20%	10%	—
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

- （注）1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
 2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日分）の違約金を収受します。
 3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合はそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合は切り上げいたします。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

TERMS AND CONDITION FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

【Scope of Application】

Article 1

1. Contract for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and / or generally accepted practices.
2. In the case where the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

【Application for Accommodation Contracts】

Article 2

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case where the Guest requests, during his / her stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

【Conclusion of Accommodation Contracts, etc.】

Article 3

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (an equivalent of three day Accommodation Charges) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges, under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 17 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 11.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

【Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit】

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of Article 3, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same paragraph.
2. In the case where the Hotel has not requested the payment

of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit as the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding paragraph.

【Refusal of Accommodation Contracts】

Article 5

1. The Hotel will not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:
 - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
 - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself / herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
 - (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (5) When the Guest seeking accommodation has requested the Hotel to assume an unreasonable burden;
 - (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and / or other causes of force majeure;
 - (7) When the person behaves in a manner which gives disturbance to other guests (The YAMAGATA Ordinance Article 5.).
2. The Hotel will not conclude an Accommodation Contract under any of the following cases and in the case when it judges their applications.
 - (1) When the Guest seeking accommodation is a member of an organized crime group designated under "the Law on the Prevention of Irregularities by Gangsters" or any person related to such a gang or any other anti-social forces;
 - (2) When the Guest seeking accommodation is a corporate entity or other group, the business activities of which are controlled by an organized crime group or such a gang;
 - (3) When the Guest seeking accommodation has demanded, to accommodation facilities or accommodation facilities staff (employees), overbearing unjust acts such as violence, threat or blackmail, or has requested the Hotel to assume an unreasonable burden, or proven to have conducted himself / herself in a similar manner in the past;

【Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest】

Article 6

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case where the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case where the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

【Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel】**Article 7**

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 1 of Article 3, the Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases.
 - (1) When the Guest seeking accommodation falls under any of the category of persons in Article 5, paragraph 3 to 7;
 - (2) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself / herself in a manner that will contravene the Article 10;
 - (3) When the Hotel has a valid reason other than the above to cancel;
2. Notwithstanding the provisions of Paragraph 1 of Article 3, the Hotel may cancel the Accommodation Contract when the Guest seeking accommodation is applicable Paragraph 2 of Article 5.
3. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

【Registration】**Article 8**

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
 - (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3) Date and estimated time of departure; and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case where the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 11 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding paragraph.

【Occupancy Hours of Guest Rooms】**Article 9**

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. to 11:00 a.m. the next day. However, in the case when the Guest is accommodated consecutively, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) Up to 3 hours: one third of the room charge
 - (2) Up to 6 hours: one half of the room charge
 - (3) More than 6 hours: room charge in full

【Observance of House Regulations】**Article 10**

1. The Guest shall observe the House Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

【Payment of Accommodation Charges】**Article 11**

1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1.
2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front cashier's desk at the time of the departure of the

Guest or upon request by the Hotel.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

【Liabilities of the Hotel】**Article 12**

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the no fulfillment of the Accommodation Contract and / or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
2. Hotel is covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and / or other disasters.

【Handling When Unable to Provide Contracted Rooms】**Articles 13**

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

【Handling of Deposited Articles】**Article 14**

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front cashier's desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.
2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front cashier's desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen, except in case where loss or damage was caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel.

【Custody of Baggage and / or Belongings of the Guest】**Article 15**

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check in.
2. When we find lost baggage in our hotel, we will handle them properly in accordance with the Lost Property Act and the Cabinet Order based on it.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

【Liability in Regard to Parking】**Article 16**

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the

premises of the Hotel, as is shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

【Liability of the Guest】

Article 17

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

【Waiver for Computer Communication Service】

Article 18

Please be informed that we are not responsible for any possible damage that may be caused by a system failure or for other reasons while the computer communication services are being used. In addition, the guest may be required to compensate the Hotel

and a third party for any possible damage caused by acts that we judge to be an inappropriate use of our computer communication system.

【Governing Language】

Article 19

These terms are provided in both Japanese and English. In case of a discrepancy between the Japanese and the English, the Japanese version will take precedence.

【Applicable law and jurisdiction】

Article 20

These terms and conditions shall be governed by, construed and enforced in accordance with the laws of Japan. Any and all disputes arising here from or in connection herewith shall be exclusively submitted to and finally resolved by Japanese competent courts.

●Attached Table No.1

Calculation method for Accommodation Charges, etc.
(Ref. Paragraph 1 of Article 2. Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 11)

	Contents
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges
	① Basic Accommodation Charge (Room Charge)
	② Service Charge (①×10%)
	Extra Charges
	③ Meals & Drinks (additional meals & drinks) and other charges
	④ Service Charge (③×10%)
	Taxes
	Consumption Tax

Remarks:

Basic accommodation charge is posted at the Front Desk and in each guest room.

●Attached Table No.2

Cancellation Charge for Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date When Cancellation of Contract is Notified	Contracted Number of Guests		
	Individual	Group	
	1 to 14	15 to 99	100 and more
No Show	100%	100 %	100%
Accommodation Day	80%	80%	100%
1 Day Prior to Accommodation Day	20%	20%	80%
9 Days Prior to Accommodation Day	—	10%	20%
20 Days Prior to Accommodation Day	—	—	10%

Remarks:

- The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
- When the number of the days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled as of 10 days prior to the occupancy (or, as of the booking date if accepted less than 10 days prior to the occupancy), the cancellation charge should be paid for the remaining number of persons excluding an equivalent to 10% (with fractions counted as an integral number) of the total number of the persons booked. In such a case, the cancellation shall not be charged for the 10% portion.

